

2021年12月6日

業務用マヨネーズおよびマヨネーズタイプ製品、 ドレッシング類、サラダ製品出荷価格改定のお知らせ

2022年3月1日(火)納品分[※]より

※納品分：当社からの納品分

味の素株式会社(社長：西井 孝明 本社：東京都中央区)は、2022年3月1日(火)納品分より、業務用マヨネーズおよびマヨネーズタイプ製品、業務用ドレッシング類、業務用サラダ製品の出荷価格改定を実施します。

当社では、主原料である油脂の急激な価格高騰に伴い、本年7月1日納品分より業務用マヨネーズおよびマヨネーズタイプ製品の価格改定を実施しました。しかしながら、その後も油脂の原料である穀物の国際価格は、世界的な需要拡大と、天候不順による主産地での生産の伸び悩みによって高騰が続いています。

また、業務用ドレッシング類、業務用サラダ製品においても、更なる食用油価格の大幅な高騰の影響を受けています。

当社は、常に価値ある製品を適正な価格で消費者の皆様を提供することを基本姿勢としており、合理化・効率化を進めてまいりましたが、このように大幅に原料価格が高騰する現状では、企業努力の範囲内でコストアップを吸収することは大変難しく、出荷価格を改定せざるをえない状況となりました。

今回の改定による値上げ幅は、約1～12%となります。

【価格改定対象製品および値上げ幅】

業務用マヨネーズおよびマヨネーズタイプ製品(全16品種) 約5～12%

業務用ドレッシング類(30品種) 約4～12%

業務用サラダ製品(全24品種) 約1～4%

味の素グループは、“アミノ酸のはたらき”で食習慣や高齢化に伴う課題を解決し、人々のウェルネスを共創する、食と健康の課題解決企業を目指しています。

私たちは、“Eat Well, Live Well.”をコーポレートメッセージに、アミノ酸が持つ可能性を科学的に追求し、事業を通じて地域や社会とともに新しい価値を創出することで、さらなる成長を実現してまいります。

味の素グループの2020年度の売上高は1兆714億円。世界35の国・地域を拠点に置き、商品を販売している国・地域は130以上にのぼります(2021年現在)。詳しくは、www.ajinomoto.co.jpをご覧ください。

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先：Pr_media